

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
6	上 入 佐 あ ゆ み	公 明 党	関 係 局 長	

発言の要旨

- 1 平和啓発と平和学習等について
 - (1) 市立学校における平和学習について
 - ① 平和学習の有無及び内容（教材等含む）
 - ② 平和学習に参加した児童生徒の声
 - (2) 市民を対象とした平和啓発事業について
 - ① 鹿児島空襲など本市が経験した戦争の歴史の継承についての現在の取組
 - ② 本市が保有している戦争体験談の映像や当時の資料等のデジタル化の取組
 - ③ 平和学習派遣等の取組状況と今後の取組
 - (3) 交流証言者等の取組について
 - ① 本市における取組状況
 - ② 長崎市における交流証言者に係る取組について
 - ア. 目的及び概要（交流証言者の年齢含む）
 - イ. 活動内容
 - ウ. 交流証言者の講話を聞いた方の声
 - エ. 長崎市における交流証言者の育成についての取組
 - オ. 長崎市の取組を参考として本市の戦災の交流証言者を育成することについての考え
 - (4) 広島市における原爆被害等を疑似体験できるVRゴーグルの貸出しについて
 - ① VRゴーグルとは
 - ② 活用事例
 - ③ 体験された方の声
 - ④ 活用された自治体等の声
 - ⑤ 本市でのVRゴーグルを活用した原爆被害等の疑似体験会の開催についての考え
 - (5) 本市における戦災と復興資料・写真展等の常設についての考え
 - (6) 本市における今後の平和学習の取組についての教育長の考え
 - (7) 本市における平和啓発のさらなる充実に向けての市長の思い
- 2 水害時の車両の避難場所の確保について
 - (1) 水害が車両に及ぼす主な危険性
 - (2) 本市における浸水被害が想定される地域
 - (3) 本市での水害時における車両避難の取組状況
 - (4) 静岡市における水害時避難駐車場について
 - ① 選定基準及び概要
 - ② 主な利用施設及び数・収容総台数並びに利用実績
 - (5) 本市でも水害時の車両の避難場所を確保すべきと考えるが見解は

6	上入佐あゆみ	公明党
---	--------	-----

3 市有施設のエレベーターの地震対策について

(1) エレベーター利用者の閉じ込め防止について

- ①地震時管制運転装置の概要
- ②同装置の有無別の市有施設のエレベーター数
- ③同装置のないエレベーターで閉じ込めが発生した場合の管理者としての対応及び課題

(2) エレベーター用防災チェアについて

- ①概要
- ②他都市の事例

(3) 市有施設のエレベーター内にエレベーター用防災チェアを設置する考えは

4 ひとり暮らしの高齢者で身寄りがない方への支援について

(1) 本市での取組について

- ①ひとり暮らしの高齢者の実態把握（高齢者のいる世帯数及びそのうちの高齢単身世帯数と割合含む）
- ②日常生活の支援や見守り及び安否確認の状況
- ③相談窓口の有無と役割
- ④相談者の声
- ⑤亡くなった後の支援
- ⑥これまでの取組についての効果及び課題

(2) 頼れる身寄りがない高齢者等に係る社会福祉法等の一部改正について

- ①法改正の背景及び概要
- ②期待される効果
- ③国の今後のスケジュール及び令和9年度予算の概算要求の内容

5 高齢者の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費助成支援について

(1) 加齢による聴力低下の要因

(2) 加齢による聴力低下が日常生活等に及ぼす影響

(3) 横浜市における難聴者補聴器購入費助成事業について

- ①概要（助成要件含む）
- ②助成を受けた方の声

(4) 同補聴器購入費助成支援についての要望内容

(5) 本市における補聴器購入費助成事業導入についての考え

6 日常生活用具給付事業（ストーマ装具）について

(1) ストーマ及びストーマ装具とは

(2) 本市の取組について

- ①取組状況
- ②ストーマ装具の給付対象となっている直腸機能障がい者とぼうこう機能障がい者の人数
- ③給付基準額と費用負担基準額
- ④給付を受けている方の声

(3) 本市のストーマ装具についての給付基準額の増額に対する見解

6	上入佐あゆみ	公明党
---	--------	-----

7 医療用ウィッグ等購入費の助成について

(1) 本市における助成について

- ①概要
- ②対象品目
- ③助成額の上限及び助成回数
- ④助成を受けた人数（過去３年）
- ⑤助成を受けた方の声

(2) 千葉県流山市における助成について

- ①概要
- ②対象品目
- ③助成額の上限及び助成回数

(3) 流山市を参考に円形脱毛症等のがん以外の他疾患のある方も医療用ウィッグ等購入費助成の対象に追加すべきと考えるが本市の見解は

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
7	たてやま 清 隆	日 本 共 産 党		

発言の要旨

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 女性天皇への道を閉ざした皇室典範「改定」への見解
- 2 国保行政について
 - (1) 県の国保財政安定化基金の活用について
 - ① 県による見直しの内容と動向
 - ② 同基金の活用に関する本市の県への要請内容
 - ③ 県の「仮算定」に向けた今後のスケジュール
 - (2) 保険料（税）水準の統一に向けた令和9年度からの二次医療圏ごとの統一について
 - ① 鹿児島医療圏の各自治体の被保険者数、医療費指数
 - ② 医療費の格差が国保事業費納付金に及ぼす影響
 - ③ 本市の「1人当たり納付金」は相対的に高くないか
 - (3) 県内他市と共同で「基金」の大幅な活用を県に要請すべき、市長の見解
- 3 第10期鹿児島市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画及び認知症オレンジシティかごしま推進計画について
 - (1) 介護の「2025年問題」に対する本市と国の総括
 - (2) 介護の「2040年問題」に対する国の方針と本市の対応
 - (3) 国で検討されている介護保険制度の見直しの内容と本市の第10期計画への影響について
 - ① 保険給付費の見直し（要介護1・2の介護サービスの見直し、利用者の自己負担割合の拡大、ケアプランの有料化）
 - ② 特定地域（中山間・人口減少地域）の創設、月当たり定額報酬の導入及び人員配置基準の緩和
 - (4) 介護給付費準備基金と第10期第1号被保険者保険料について
 - ① 第10期計画の保険給付費に占める第1号被保険者の負担割合
 - ② 介護給付費準備基金残高及び同残高を第1号被保険者数で除した額（令和7年度末）
 - ③ 当初予算に対する第1号被保険者数の増加と保険給付費の不用額が同基金の増加の原因か
 - ④ 同基金を取り崩して、第10期第1号被保険者保険料を引き下げることが可能ではないか
 - (5) 介護の危機を打開するために、国庫負担の割合を10%引上げ「公費60%、保険料40%」とし、公的助成による介護職員の賃上げと介護報酬の底上げで、介護事業所の経営継続を支援すべき
- 4 鹿児島市新松元学校給食センター整備・運営事業について
 - (1) PFI導入の理由
 - (2) 同センターの学校給食の提供体制について
 - ① 配送対象となる学校数と児童生徒数、そのうち、自校方式の学校数と児童生徒数
 - ② 配送対象となる学校で食物アレルギーの対応が必要な対象児童生徒数及び同センターの対応能力
 - ③ 各学校への運搬体制と到着時間及び自校方式の配食までの比較
 - (3) 従前の「センター方式及び自校方式」とPFI方式の優位性は何か

5 学校規模適正化等について

(1) 喜入地域学校規模適正化等推進事業について

- ①「PTAの8割は、喜入小との統合を希望」とあるが「2割」の声は何か
- ②喜入小との統合後も存続が求められている児童クラブへの対応
- ③平成30年度以降、「地域の活性化対策」は図られてきたのか
- ④両校区では、喜入小との統合について地域の合意形成が十分図られているとの認識か

(2) 皇徳寺校区の学校規模適正化等について

- ①宮川小（小規模校）の説明会の参加者と内容及び出された意見等
- ②皇徳寺小（適正規模校）の説明会の内容及び出された意見等及び同校の学級数・児童数の見込み
- ③「小規模校」の「よりよい教育環境づくり」について
 - ア.「3つのメリット」の内容
 - イ. メリットを生かした教育実践や地域連携の取組状況
- ④宮川小校区の公営住宅の現状と課題について
 - ア. 市営住宅、県営住宅の空き住戸数と子育て世帯の入居状況
 - イ. 公営住宅への子育て世帯の入居の促進を図る施策の必要性

(3) 「小規模校」の地域にも「若者から選ばれるまちづくり」の具現化を、市長の見解

6 高齢者福祉バス運行事業について

- (1)同事業の目的と、いぬまき号（27人）、つわぶき号（24人）の稼働年数と廃止理由、廃止に対する市民の声及び「ゆうかり号（45人）」の稼働年数
- (2)貸切バス借上料の一部を助成する補助制度の内容及び周知方法
- (3)国の一般貸切旅客自動車（大型）の公示運賃と市営バスの条例額の推移（平成26年度、令和5年度、7年度）とその増加要因
- (4)高齢者団体・グループの市営バスの貸切バスの利用実績（7年度の件数、料金、利用人数）
- (5)7年12月から廃止された「いぬまき号」の影響について
 - ①「いぬまき号」の6年度と7年度の実績比較（利用団体、利用人数、運行管理費）
 - ②6年度と7年度の全体実績の比較（利用団体、利用人数、運行管理費）
 - ③貸切バス借上料補助の7年度の実績（利用団体、利用人数、補助件数、借上料合計と1台平均）
- (6)高齢者福祉バスを存続し、かつ借上料の補助金の増額を図るべき

7 安心安全なまちづくりについて

(1) 市道本城大久保線について

- ①令和8年度の予算措置の内容
- ②今後の事業計画

(2) 市道一倉小田代線道路改良工事について

- ①8年度の予算措置の内容
- ②今後の事業計画

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
8	西 洋 介	自 民 党 市 議 団		

発言の要旨

1 令和6年6月に発生した本市の認定こども園における重大事案について

- (1) 事件の概要
- (2) 第三者委員会等、本市のこれまでの対応
- (3) 鹿児島地裁における公判や判決を通じて明らかになった原因
- (4) 再発防止に向けた取組について
 - ① 防犯カメラ設置等への支援
 - ② 保育教諭等のメンタルヘルス等への対応

2 保育所等での熱中症対策について

- (1) 保育所等での熱中症事故の報告の仕組みと今年度の報告件数
- (2) 園庭における日よけ等整備支援への考え

3 「全国学力・学習状況調査」について

- (1) 令和8年度の調査の概要について
 - ① 目的
 - ② 実施学年・実施学校数・実施児童生徒数
 - ③ 内容
- (2) 調査結果について
 - ① 国語と算数・数学の結果と推移（6年度～8年度）
 - ② 結果分析による本市の傾向と課題
 - ③ SNSや動画視聴との関係
- (3) 学力向上に向けた今後の取組

4 学校給食におけるくるみ等の木の実類の提供について

- (1) 献立の決定方法と食物アレルギーへの対応
- (2) くるみ等の木の実類を含む食物アレルギーについて
 - ① 食物アレルギーの症状
 - ② 「即時型」の食物アレルギーの原因食物における木の実類の割合
 - ③ 木の実類の発症数の傾向
 - ④ ショック症状を呈した原因食物における木の実類の割合
- (3) くるみ等の木の実類の本市での生産状況
- (4) 学校給食で提供しない食材の指定
- (5) 食物アレルギーへの対応も含めた学校給食の考え方

8	西 洋 介	自 民 党 市 議 団
---	-------	-------------

5 スタジアム整備について

(1) 候補地について

- ① 鹿児島国際観光株式会社への報告
- ② 絞り込んだ候補地での課題調査

(2) 広島市、金沢市のスタジアム整備費について

- ① それぞれの負担者とその金額、割合
- ② 各市の負担額に対する財源措置

(3) 鴨池公園周辺の渋滞について

- ① 渋滞等への県の認識
- ② 鴨池公園の駐車場の台数等整備の考え方

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	関 係 局 長
9	大 原 葉	無 所 属	農業委員会事務局長	

発言の要旨

1 スタジアム建設について

(1)国が推進するスタジアム・アリーナ改革の背景と目的

(2)令和4年度需要予測等調査について

①多機能化で見込んでいた来場者数と収支

②複合化で見込んでいた来場者数と収支

③複合化を断念したことによる来場者数と収支のマイナス

④複合化がなければ稼働率を上げられず、稼ぐことが困難と考えるが、見解

(3)活用を想定している財源（国の補助金）の概要と主な条件

(4)Jリーグスタジアム基準と公益性の両立について

①J1基準収容人数15,000人に対する2025シーズンにおける鹿児島ユナイテッドF.C.の集客について

ア.1万人を超えた試合数・観客数と無料招待の割合

イ.観客数ワースト3

②天然芝とその制約について

ア.ピッチ使用後の養生日数及び年間の養生日数

イ.鹿児島ユナイテッドF.C.の試合以外でピッチが使える年間の日数及び使用可能な競技・イベントとその対象者

③Jリーグスタジアム基準と公益性は両立するか

(5)本市のサッカー競技場の現状について

①アマチュアや児童生徒の大会で利用している本市及び市外の主な競技場

②アマチュアや児童生徒の大会で利用できる本市のサッカー競技場は充足しているか

③白波スタジアム利用過多の現状

④新スタジアムができることにより見込まれる改善内容

⑤アマチュアや児童生徒の大会で利用できるサッカー競技場を増やすべきではないか

(6)県立鴨池庭球場移設に伴う影響について

①競技団体や文化芸術団体等からの要望や懸念点

②市民文化ホールの駐車場約60台減への対応

③モニュメントや文化公園の方向性

④他団体や市民へのしわ寄せとならないか、また要望をどのように反映させる考えか

(7)市長のスタジアム建設に対する考えについて

①新スタジアムが「選ばれるまち」に寄与し、新たなにぎわいや回遊性が生まれる理由

②「造るか造らないか」も含めて、様々な市民の意見を聴取する場を設定するか

③候補地決定の今後のプロセス

④建設の是非や郊外建設も含めて再検討が必要と考えるが、見解

9	大 原 葉	無 所 属
---	-------	-------

2 (仮称) かがしま郡山風力発電事業について

(1) 現在の状況と今後のスケジュールについて

- ① 現在申請中または事前相談中の主な関係法令とその進捗
- ② 着工及び運転開始までのスケジュール

(2) 保安林解除と管理用道路について

- ① 改変面積約 21ha のうち風車ヤード及び管理用道路の面積とその割合
- ② 改変面積約 21ha のうち保安林の面積とその割合
- ③ 改変される保安林のうち保安林解除の面積とその割合
- ④ 管理用道路のうち保安林の面積とその割合
- ⑤ 管理用道路を林業にも供用するための森林施業の計画

(3) 保安林と沈砂池について

- ① 森林及び沈砂池、それぞれの機能
- ② 沈砂池は森林の何の機能を代替するのか
- ③ 沈砂池は水源涵養機能を代替できるのか
- ④ 保安林解除による直接の利害関係者は誰か

(4) 盛土規制法について

- ① 許可申請提出後の具体的な審査項目
- ② 安全性確保のため、どのような観点で審査を行うか

3 災害時の物資支援体制について

(1) 段ボールベッドやパーティションについて

- ① 本市及び本県の備蓄数と備蓄場所
- ② 発災後、誰がどのように搬送、設置する計画か
- ③ 避難所開設後、何時間以内に設置する想定か

(2) 備蓄物資・救援物資について

- ① 本市の備蓄状況
- ② 救援物資の本市の集積拠点の場所と配分の方法
- ③ 県の備蓄状況と本市への支援体制
- ④ 民間との協定
- ⑤ 国のプッシュ型支援とは
- ⑥ 国のプッシュ型支援が届くまでの対応計画

(3) 本市が被災し、職員や庁舎、通信、道路等が機能しなくなった場合の指示系統の計画

(4) 課題及び今後の取組

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
10	仮 屋 秀 一	自 民 党 市 議 団	関 係 局 長	

発言の要旨

- 1 生活排水対策等について
 - (1)浄化槽の設置基数と公共下水道の整備状況（10年前との比較）
 - (2)浄化槽の設置対象世帯の高齢化率
 - (3)浄化槽と公共下水道の年間費用（1人世帯、2人世帯）
 - (4)浄化槽維持管理費用に対する公的補助（九州及び県内）
 - (5)浄化槽設置に向けた建築指導課と環境保全課の対応状況
 - (6)無管理浄化槽が発覚した場合にかかる費用と環境上の問題
 - (7)浄化槽の維持管理費用に対する公的補助に対する見解
- 2 かごしま・リビルド・トランスフォーメーション（かごしまRX）について
 - (1)事業に至った背景と期待される効果
 - (2)施策に期間を要した理由と3回に分けて施策を進めた理由
 - (3)3施策の特徴的なものを含む概要と補助制度の財源
 - (4)問合せの有無と評価
 - (5)制度活用に関わる部局との連携
 - (6)改めて本事業に寄せる市長の思い
- 3 認定外道路、法定外道路の整備について
 - (1)両道路整備事業の果たす役割と評価
 - (2)第五次総合計画後期基本計画と第六次総合計画前期基本計画の当初予算額と増減率
 - (3)令和6年度以降の事業と工事費
 - (4)現時点の事業化に至っていない件数
 - (5)現時点で未着手の概算額と施工までの年数
 - (6)施工が40年後になる理由
 - (7)不用額の活用に対する見解
 - (8)建設事業基金等による一括対応への見解
 - (9)市長の前向きな英断を
- 4 吉野第二地区土地区画整理事業と稲荷川雨水貯留施設整備事業について
 - (1)それぞれの進捗状況
 - (2)それぞれの本年度の内示率と昨年度との比較
 - (3)それぞれの本年度の内示率に応じた事業支出と事業推進に向けた努力
 - (4)仮換地指定率が低い要因と対応策
 - (5)吉野第二地区土地区画整理事業の事業完了見込み

10	仮 屋 秀 一	自 民 党 市 議 団
----	---------	-------------

5 中学校部活動の地域展開について

- (1) 部活動に対する考え
- (2) 熊本市の対応に対する見解と本市が地域展開した場合の期待される効果
- (3) 本市の学校事情に合わせた取組に対する見解
- (4) 地域展開に向けての進捗状況、課題と対応、スケジュール
- (5) 教職員が地域クラブの指導者として活動するための具体的手続
- (6) 希望する教職員のための地域クラブとの調整
- (7) 夏休み期間の教職員を含めた対応
- (8) 地域展開に移行した場合のトラブルに対する対応
- (9) 地域展開に対する教職員等の声の把握とまとめ
- (10) 真に生徒の健全な成長につながる部活動に向けての地域展開の有無を含めた見解